

各常任委員会行政視察報告

総務企画委員会

視察日 10月9日～11日
 視察市 大阪府豊中市、和歌山県海南市
 視察項目

- ・ 豊中市
 ・ 施設再編方針に基づく施設再編
 ・ 行財政改革の推進
- ・ 海南市
 ・ 津波・地震対策（防災施策と災害時の対策、危機管理に対応する市の担当部局と体制、他自治体や民間企業との支援協定）
 ・ 自主防災組織の組織化、市のかかわり、支援

施設再編方針に基づく施設再編

施設再編方針は、公共施設等総合管理計画のもとで施設再編を検討するに当たり、施設種別ごとに公共施設マネジメントの基本方針を具現化するための課題と方針を検討し整理するもの。豊中市では平成29～52年度までの24年間で、建物施設とインフラ施設について「豊中市公共施設等総合管理計画」として計画した。

さらに、再建に向けた課題と方針として、総合管理計画に掲げる公共施設のマネジメント基本方針を、「施設総量フレームの設定、戦略的配置、複合化・多機能化の推進」「維持管理経費の削減」「公民連携の推進」「施設利用の推進」の3項目に分類整理している。

行財政改革の推進

豊中らしいまちづくりを支える人、組織、財政などの行財政運営基盤の充実・強化を図るため、その取り組みの考え方と目標を示す「中期行財政運営指針」を28年7月に策定した。この方針に基づき、未来を見据えて絶えずチャレンジと変革を追求し、新たな創造により多様なニーズに応える「未来志向型の改革」を進めている。

津波・地震対策 自主防災組織の組織化、市のかかわり、支援

能代市と比べて人口が同等で面積が4分の1の和歌浦湾に面する海南市。南海トラフ巨大地震対策も含め、東日本大震災や紀伊半島大水害を受けこれまでの地域防災計画の問題点を踏まえて「災害に対する実効性の高い地域防災計画」として25、26年度に改定されている。また、「海南市津波避難計画」も策定しており、特に沿岸部の地域には住民一人ひとりが円滑に津波から避難ができるよう「地区津波避難計画」を作成することを願っている。

現在98団体と支援協定を結んでいる。自主防災組織の結成率は89・1%、設立に当たっての自主防災組織育成事業補助金がある。31年度は、宝くじ事業のコミニティ助成事業としても実施する予定となっている。

(菅原隆文)



文教民生委員会

視察日 10月10日～12日
 視察市 千葉県木更津市、埼玉県東松山市
 視察項目

- ・ 木更津市
 ・ まなび支援センターの事業
 ・ 健康増進センター（いきいき館）
- ・ 東松山市
 ・ 子育て世代包括支援センター
 ・ きらめき市民大学

まなび支援センターの事業

幼児言語センター、教育センター、青少年指導センター、それぞれ3つの機能を1つに集約して開設された「木更津市まなび支援センター」。幼児期から青少年に至るまでの教育相談活動の充実を図るとともに、教職員研修・学校支援活動を推進し、子供たちの健やかな成長と教職員の指導力向上を支援している。学校支援における算数・数学検定が特色である。小学3年生から中学3年生を対象に、受験料無料で年2回実施、年間約6000人が受験している。

健康増進センター（いきいき館）

木更津市クリーンセンター（ごみ処理施設）の余熱を有効利用したスポーツ施設を改修し、健康増進のための施設として、スポーツ関連企業が指定管理者となり運営している。

生活習慣病予防に重点をおいた健康づくりの場を提供する。主な施設は屋内温水プールとトレーニングジム。無料送迎バスの実施や自前マシンの導入など、指定管理者による自主的な投資が実を結んで、利用者は飛躍的に増加した。